

挨拶はコミュニケーションの基本の「き」 ～地域教育～

退職して自宅に居ることが多くなって気づいたのだが、小中学生の登下校時の賑やかな声になんとなく癒される。「子供は地域の宝」と言われるが、将来を支えてくれるという現実的な面だけでなく、日常生活でも有形無形に今を支えてくれているのだと改めて感じている。

そういえば、ひまわり祭りや文化祭、運動会などで子供たちが活き活きと活動している様子を見て嬉しい気持ちになるのは、私だけではあるまい。

教育には、「学校教育」「家庭教育」「地域教育」があるとよく言われる。学校と家庭での教育については具体的に理解できるが、地域教育については主体が曖昧なためか言葉だけが飛び交っているようだ。勿論、子供たちのために活動をして下さる方々が沢山いらっしゃるが、地域全体からすると、まだ一部の方でしかないように思う。

私は、子供たちに「こちらから挨拶をする」ことを心掛けている。この「挨拶」こそが地域で子供を育てる第一歩であるように思う。これからも子供たちに挨拶を続けることで、地域教育の端っこに参加したいと思っている。(H. A)



会長より



新年おめでとうございます！
昨年末の衆議院選挙をどのようにお考えですか。

子供や孫の時代の日本は大丈夫でしょうか。難しい時代です。

だからこそ、政治について皆で関心を持ち考えて行きましょう。

身近な地域の議員、藤岡みどりをよろしくお願ひいたします。

(大西 多美子)

子どもたちの安心・安全のため



町内チェックで
設置された標識やマーク

補導員連絡会に出席して

◎町の安心、安全を地域で考えよう

月初めに行われる岡田駐在所での補導員さんや学校、地域の人たちの集まりに、時々出席して子どもたちや高齢者の安心、安全確保のための情報や意見を聞きます。時には交通事故危険箇所マップなどを使って具体的に、どこをどう改善すればよいのか知恵を出し合い行政の協力が必要な場合は、直接窓口に行きスピーディな対応をお願いします。今後も連携を深めよりパイプ役としての活動を活発化させていきます。

事務所スタッフ常駐時間帯

(月・水・金) AM9:00～PM5:00
(火・木) AM9:00～正午まで



編集後記

いつもご愛読ありがとうございます。

新しい年を迎え、皆様におかれましても気持ち新たにスタートされたことでしょう。私も気分を改め、「今年こそはダ〇〇〇を！」なんて(毎年おなじ)目標を立てては…。目標達成にはモチベーションを高く！そして努力を！

ワクワクレポートも記念すべき10号となりました。今後も読んで頂けるレポートを目指し、取り組んでいきたいと思ひます。(K.I)



藤岡みどりの

ワクワクレポート



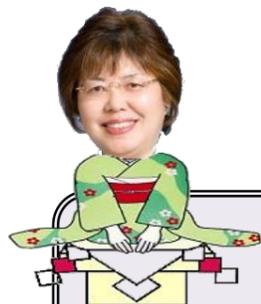
第10号

2013.1.15 発行

発行：藤岡みどりを推薦する会 会長 大西多美子・松前町議会議員 藤岡 緑
〒791-3132 愛媛県伊予郡松前町西高柳255-1

☎ 089-989-3132 FAX 089-989-3131 ホームページ <http://www.fujioka-midori.jp>

謹賀新年



あけましておめでとうございます。

年末に実施された国政選挙は3年前のそれとは随分違って投票率60%を下回るような結果の中で自民大勝、民主惨敗という民意が表明されました。あまりにも冷え切った経済、拡大する格差、遅々として進まぬ大震災後の復興、原発とどう向き合うのか、待たなしの社会保障と税の一体改革などなど。私たちに突き付けられた問題は重く難しいかじ取りを余儀なくされるものばかりだったから、ベテランの老舗にやっぱり任そうという事になったのかもしれませんがね。

ただ第3極というニューフェイスにも若干の期待と、夏の参院選に多少なりとも含みを持たせたようです。いずれにしても地方分権を進めて、地方のことは地方に任す権限と財源がほしいところです。議会も実力をつけてしっかり見守り地域の活性化に私たち議員も汗を流していかなければならないでしょう。

蛇のように静かに睨みを利かして…



今年のチャレンジ

～年末恒例となった松前の第九(ベートーヴェン作曲歓喜の詩)を聴いて今年への挑戦と意気込みの力をもらいました～

議員活動として、これまで一般質問で行政側に要望したり、提案した中で実現化できるように研究を重ねていきます。

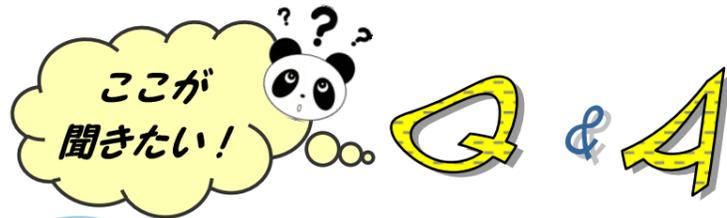
- I 女性と防災、地域の防災教育
- II 子育て支援と子どもの安心、安全対策
- III 高齢者ニーズに対応した地域づくり
- IV 観光スポットとルート開発(地産地消と地元産業育成)
- V 環境、省エネ対策、エネルギー問題
- VI 空き家、空き地利用、ニーズマッチング

★主な参加活動記録

| | |
|-----|---|
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・推薦する会定例会 ・6月定例議会 ・愛媛県消防操法大会 ・MIFA総会 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・市町村議会議員特別研修 ・老人ホーム組合研修 ・議会活性化勉強会 ・1市3町交流会 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・議会活性化勉強会 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・松前町防災訓練&フェア ・9月定例議会 ・地域総合防災訓練 |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報委員会 ・さんかくの会リーダー会 ・日本女性会議in仙台 |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・決算特別委員会 ・四国地区町村議会研修 ・議会研修(産業建設) |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・12月定例議会 |



皆さんからのご意見・感想をお待ちしています。
お手紙・メール、直接お電話でも結構です。
メールアドレス
fujioaka.midori@gmail.com



9月

Q 深刻化するいじめ問題に現場は

A. いじめは犯罪であり「絶対に許されない」という立場で指導、支援、早期解決につなげています。

さらに重大な問題がある時は教育委員会が主体となって専門機関と連携し解決していく。学校内の子どもたちの支援体制としては「スクールカウンセラー」、「ハートなんでも相談員」等を設置し気軽に相談できる体制も整えています。

(-0-) 深刻化しない内の早目の対策に期待します



Q 高齢者の暮らしのサポートは

A. 町内人口の約4分の1が65歳以上で、その内一人暮らしの方で1500人弱の暮らしの実態が把握しできていません。そこで町としては、二つの支援事業を打ち出しました。

集会所の施設充実などの地域支え合い事業と郵便事業会社との提携による独居高齢者の生活実態調査協力事業で更なる支援につながります。これは配達業務の傍らで高齢者の暮らしぶりや困りごとなどいくつもの調査項目の聞き取りをするものです。

(*0*) 県内でもかなり早い取り組みで、きめ細かい支援に期待

12月

Q 町の空き地・空き家対策は

A. H17から、空き家取り壊し補助制度を設け、スムーズな住環境の改善に努めています。

(-0-) 空き家バンクなど、そのニーズに合わせた展開も必要では

Q コンパクトシティの利点を生かした観光施策を

A. 8月に県から、県全市町のサイクリングコースの提案依頼があり町としては「泉めぐり」コースを提案しています。

(*0*) 詳細は議会だよりまさき町12月号をご覧ください。

☆第53回四国地区町村議会議長会の研修会 (2012. 11. 6) 高松

《前半》講師：同志社大学教授 新川達郎氏

テーマ：「自治体議会の災害対応、災害時の議会役割について」

★大規模災害時の議会の対応として、救援・復旧対策、被災者としての議員や議会がどのように情報収集や調査をするのか、まさに「議会の危機管理体制のあり方」が問われる。市町村行政との役割分担を明確にし、あらかじめ議会そのもののイニシアチブをどこがとるのかも決めておく必要があると強調された。また災害復興のプロセスにも議会の責任を問われることも覚悟した計画でなければならないと学んだ。

《後半》講師：アートディレクター 北川フラム氏 テーマ：「瀬戸内国際芸術祭 ～海の復権～」

2010年に開催された瀬戸内国際芸術祭で総合ディレクターを務めて、2013年にもその手腕を発揮されること。このプロジェクトを通して、私たち地方議員に大切な地域振興のヒントを頂いたような気がした。



☆産業建設常任委員会で視察研修に行きました (2012. 11. 20～21)

岡山県笠岡市と兵庫県淡路市のメガソーラーを視察。

《1日目》笠岡湾干拓地の道路脇の残地に幅18m、横2100mの細長い太陽光発電パネルを並べた2千KW級のメガソーラーを視察。

県の新エネルギービジョンに係る補助金を活用して候補地提供で発電事業社を公募し、地域経済にも寄与してくれそうな業者を決定し12月から稼働。

《2日目》淡路市の「あわじメガソーラー1」という太陽光発電事業を実施するに至った経緯、導入方法、国・県の補助金4億6千万を使っの事業内容などを学ぶ。県の土地を20年間無償で借り受け、業者選定はプロポーザル方式で決定。この電力で庁舎、隣接する防災安心センター、浄化センターの合計1千KWの発電量を供給し、余った電力を関電に売電し収入も得ていると聞く。

★今後の町の進める再生可能エネルギーへの取り組みに役立てる情報として、発信できる研修となったように感じた。



笠岡市メガソーラー



淡路市メガソーラー



← 防災キャンプ



地域防災訓練



↑ 地域防災訓練

防災士として
こんな
活動にも参加しました!

☆議会活性化勉強会を立ち上げて・・・

今年6月に議員有志で議会活性化について「勉強会」を立ち上げようと呼び掛けられたところ、9名のメンバーが集まった。

議会全般に関する条例や議場の休会中の使用方法、また定例議会前には議会へ提出される案件について意見交換したり、今後は議会報告会の在り方やさらに進めれば議会基本条例についても研究し、議員の資質向上・議会活性化に繋がるよう活動していく予定。

(毎月1回、90分程度の内容で行っている)

☆「日本女性会議2012 in 仙台」 (10/26～27)

110万都市仙台で開催され、東日本大震災後の復興へのプロセスにおける過酷な活動を通して、防災・減災の立場だけでなく人権の問題も含めて語り合う会であり、今後の私たちに大きなメッセージを与えてくれた。

★被災したホテルの女将や福島の大学教授、市内の子育て支援センター館長などそれぞれの立場で当時の大変な状況から今起こっている問題、これからの課題などを語ってもらい、リアルな話に思わず胸が詰まる思いがした。

★夜には全国から集まった方々500人近く(会場に入れる人数)との懇親会、また次の日には全体交流3千人が一堂に会しノルウェーの女性元首相からのメッセージを聞き、日本の政治経済の重要な施策決定の場にいかにかに女性が少いか、またあらゆる意味においてまだまだ男女共同参画が進んでいないかを改めて思い知らされ、自分の努力目標を確認した次第だった。



★「高知ソーレ視察の視察」 私の所属している男女共同さんかくの会のメンバー5人と共に、松山市にあるコムズのような活動拠点の【高知ソーレ】の施設見学と運営母体のNPO法人ポールの皆さんと交流した。

(2012. 11. 24～25)



翌日は香美市議の依光氏の案内で、高知周辺の観光をさせてもらった。2日間とも充実した中身で、関係者の皆さんには大変お世話になり特に観光面の参考になり今後の活動に生かしたいと思った。